

読者 フォーラム

WEBページで実施しておりますJM217のアンケートに以下のようなご意見をいただきました。
(<http://www.jukiinfo.com/jm/enquete/index.html>)

中国が開かれたとはいえ、社会主義国家であり、中国で仕事を行う場合には、中国人の個人主義な性格、行政が決める福利厚生等の状況を良く事前調査し、納得して進出する事が大切です。たとえば、献血(900円)、一週間の有給、残業・日曜・国定休日出勤の給与取扱などなどさまざまな問題があります。

田中康夫・上海楽菱時裝有限公司

いま、最も重要なのは、情報収集能

力をいかに高めるかということです。経済環境の変化、将来の方向……などをしっかり把握して自社の戦略を立てないと生残れません。中国については、生産コストは安いですが品質に問題がある、出来高給だから品質面がおろそかになっているなどがあり、検品制度の充実がこれからの課題といえるでしょう。

小澤元・(有)栄徳

アパレル産業全体のために、日本の流通の無駄をなくすような構造改革はできないものなのでしょうか。それが肝心です。そのような取り組みの事例がありましたら紹介してください。

水出俊哉

いま、関心をもっているのは、アジア、特にアフリカ・東欧・中米……の繊維・

アパレル情報です。生き残りのためには、オンリーワン企業になる、特化する、突出、独創、独自、逸脱、シュンパツカ、いちかばちか、複眼的志向、経営環境の変化にすばやい対応(縫製工場は特に)、コストで中国に勝る(イタリアに勝るだけが生きる道ではない)、軸足は世界(特にアジア)、FTA時代にフォカス(今後一番大事)……などがポイントです。

正田康博 文化服装学院

いま関心があるのは、縫製技術です。やはりこれが基本。その意味で取り組まなければならぬテーマは人材育成ですね。

彦根 知明

シーアイ繊維サービス(株)
TOKレディスインナー

新製品紹介

ダイレクトドライブ高速電子本縫千鳥自動糸切りミシン(クイックリバース仕様)

LZ-2290A-SR-7

新型のLZ-2290A-7をベースに高速でのTステッチ縫、千鳥模様縫を追加、用途活用の幅が広がります。

多様なパターン縫いが可能になりました。従来の千鳥縫に加え、Tステッチ縫や飾り縫いを追加、14種類20パターンを標準装備。また、縫い途中の高速でのコンデンス縫(バック縫)が可能となり設備稼働率が大幅に向上します。

紳士服では、箱ポケットのステッチ縫、衿のカラークロス縫、ラベル付け工程等、婦人服ではジャケット、ブラウスの衿、前身頃への模様縫が可能です。

また、カスタムパターンにてオリジナルのパターン作成が可能ですから用途がさらに拡大します。

鳥の巣防止仕様(LZ-2290A-SR-7-CB)もあります。





パキスタン

クォーター制度撤廃後に向け 生産性・品質向上へ 懸命の努力中

国民の97%がイスラム教徒であるパキスタンは日本の約2倍の国土を持ち、人口は1億4900万人を有する。“Pakistan”はウルドゥー語で「清浄な国」を意味すると同時に、パンジャブ州のP、北西辺境集(アフガン州)のA、カシミールのK、シンド州のS、バルーチスタン州の末尾TANを結合したものとされている。

隣のインドに比べ日本人にはなじみが薄い。爆破やテロといった情報が多いため怖い国というイメージを持つ方も多いだろう。実際、日本のように治安がよい訳ではないが、地元民の注意を聞いて気を付けていけば危険な目に会うことはほとんどないといわれている。

パキスタンにはラマダンといって1カ月の間、日の出から日没まで断食をすると、イスラム教独特の行事がある。縫製工場側にとってはこの間の生産性低下は頭の痛い問題のひとつでもある。

生産アイテムはジーンズやカジュアル・パンツ等のボトムと、ニット製品の

2極化が進んでいる。自動機などを導入する工場も多く、なかにはベーシックの5ポケットジーンズをオペレーター1人あたり40枚ほど生産する工場も存在する。

しかし2005年のクォーター制度(輸入規制)撤廃後、アメリカからのオーダーが中国に集中されることが予想されており、競合国は深刻な状況に陥るとわれている。パキスタンについてもその例外ではない。生き残りをかけ、より効率の高い設備・生産システムの導入等、生産性・品質向上への要求は日を追うごとに増している。

(岩郷太郎)



自動サージングマシン

ASN - 697 (ハイグレードタイプ)
ASN - 695 (スタンダードタイプ)

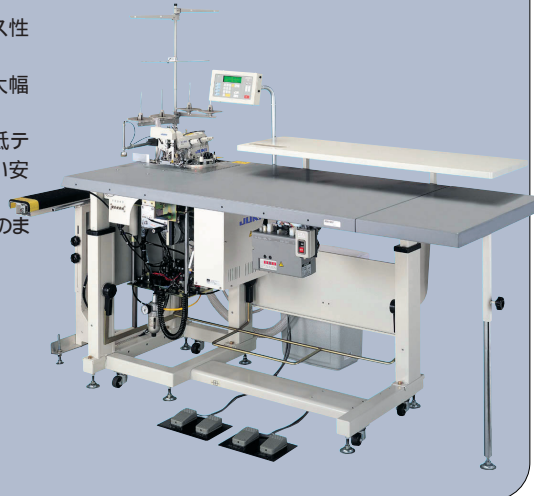
信頼性、品質重視のハイクオリティマシーン
MO-6904Sを搭載し新たにデビュー

豊富なオプションで作業性、メンテナンス性が向上しました

最高8,000rpmの高速性能で生産性が大幅にアップ

薄物での縫い対応力、素材に合わせた低テンション縫製、カーブ縫でも縫い外れない安定した縫品質を実現

MO-6904Sの持つ機能は全て本機にそのまま活かされています。



j m
JUKI Magazine

JUKIマガジン 2003年 VOL.218
<http://www.jukiinfo.com/jm/>

<通算218号> 2003年12月24日発行
発行: JUKI株式会社

<http://www.juki.co.jp>
文責: JUKIマガジン編集室
〒182-8655

東京都調布市国領町8-2-1
TEL. (03) 3480-8500
FAX. (03) 3480-7650

企画/編集: 生産技術情報センター
デザイン: 志岐デザイン事務所

JUKI販売株式会社 各拠点/営業所

本社 〒182-0016 東京都調布市佐須町1-6-4
(0424) 99-3180 (0424) 99-3191
東京 C 〒182-0016 東京都調布市佐須町1-6-4
(0424) 80-4641 (0424) 80-4656
東北 C 〒989-6135 岩手県水沢市八反町81-1
(0197) 25-2725 (0197) 25-2790
新潟 C 〒950-0915 新潟県新潟市鏡西1-10-15
(025) 245-6455 (025) 245-6454
名古屋 C 〒452-0961 愛知県豊春市井都春日町
大字落合字宮重町521
(052) 400-1234 (052) 400-9216
北陸 C 〒920-0064 石川県金沢市駅西新町3-4-25
BM-111
(076) 224-8805 (076) 224-8806
大阪 C 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-17-18
(06) 6339-7124 (06) 6339-7136
九州 C 〒839-0811 福岡県久留米市山川神代1-8-22
(0942) 44-1835 (0942) 44-9729
中四国 C 〒720-2419 広島県福山市加茂町上加茂290-1
(0849) 72-3880 (0849) 72-2380
島根 C 〒699-0406 島根県八束郡宍道町佐々布2207
(0849) 72-3880 (0852) 66-3732
四国 C 〒794-0804 愛媛県今治市祇園町2-3-52
(0849) 72-3880 (0898) 25-0334